

「お互いを尊重しあう精神」を大切にした アウトソーシングの活用が独自のサービスを創造していく。

南山大学
図書館 館長

森山 幹弘様

今回は、「人間の尊厳のために」というカトリックの精神を大切に、大学独自の特色を全面に打ち出した図書館運営を手がける南山大学図書館館長の森山幹弘氏にインタビューをさせていただきました。

業務の専門性を高めることが、 利用者へのサービス向上に繋がる

アウトソーシングの導入以前は資料を利用者へ提供する際に、書籍の整理が追いついていない状況が見受けられました。職員が資料を探すことに時間がかかってしまい、利用者の皆さんへスムーズな対応が実現出来ていない部分があったのです。

しかし、アウトソーシングを活用することで、利用者の方へ資料を提供するまでの時間が短縮出来る様になり、利用者の皆さんへより早く書籍を提供できるようになっていきました。このように、アウトソーシングを通して、「利用者の方に対してのサービスを向上させることが出来る様になった」ということは一つ目の大きなメリットです。二つ目は、「各職員の業務負担が解消されたことで、職員自身が精神的なストレスから解消されたこと」が挙げられます。これは本当に助かっていることの一つです。アウトソーシングを行うことで業務の分担が実現され、職員自身が自分の担当業務に専念することが出来る様になり、業務効率が向上しました。

仕事の種類によってはアウトソーシングして効率的に出来る仕事とそう出来ない仕事があります。アウトソーシングをする最大のメリットは、「コスト削減をすることではない」と考えています。「より専門性の高いスキルを持った方に仕事をさせていただけることで、各業務を最適な人材によって行われることに大きなメリットがある」と考えています。

このようにアウトソーシングを導入する事によって、仕事を最適な形で切り分けて考えることが可能となり、その結果業務効率が向上するという恩恵を



Top Interview 巻頭インタビュー

受けることが出来るようになりました。

図書館運営は、教職員それぞれが 「お互いを尊重する心」から始まる

本学には、「カトリック文庫」という7000冊を超える蔵書があります。この蔵書に関しては、委員会を設置し管理・運営を行っております。これからの図書館というのは、「特色のある蔵書を持っていること」が大切になってくると思います。本学の「カトリック文庫」は他館にない特色ある蔵書であり、その蔵書を残していくことが本学の使命であると考えています。

そのような本学の図書館としての特色があることに加えて、図書館を運営するにあたって大切にしている精神があります。それが、本学が教育理念として掲げている「Hominis Dignitati(人間の尊厳のために)」の精神です。

他大学の教職員の方が本学を訪れたときに、「職員と教員、教員と教員、学生と教職員のみんなが仲良く楽しそうにされている」と言ってくださることがあります。それは、働くみんなに共有する「こころ」があるのかもしれませんが、その心というのは、「人間の尊厳のために」という精神の

ことです。「お互いがお互いを尊重する」というこの精神があるからこそ、一体感のある職場が創られていくのではないかと思います。「学生が第一、職員がいて、最後に教員がいる。」というような空気を大切にしようとする心が働く皆さんにあるように思っています。ここで、単純に「働く職員を減らし、コストを削減して効率を高めていく」という考えを持ってしまうと、「人間の尊厳のために」という考えを持って働く人が減ってしまうかもしれません。業務効率だけを追い求めていくと、本学の良い職場環境は創られないと思うのです。また、同じ職場で働く者として職員と教員の分け隔てはないと考えています。「人間の尊厳のために」という考えがここにもあります。それは、図書館だけでなく、キャンパス内のどの職場でも同じことです。本学には「人間の尊厳のために」の精神を持ったスタッフがいるからこそ、この空気が創られていくのだと思います。

つまり私達は「信頼関係の下で仕事を行うのであって、コスト削減や効率だけを追い求めて仕事をするのではない。お互いを尊重して仕事を進めていくことが大切である」と考えているように思います。お互いの信頼関係がなければ、仕事は成り立たないと思います。「相手を尊重する心を持つこと」。

このことが本学の大切にしている精神だと捉えています。

企画展で見た大学独自の強みを生かした取り組みの重要性

企画展を開催する時には、職員によって構成される広報委員会が毎年各テーマを設定した上で運営しています。企画展の特徴としては、二つあります。一つ目は、「本学の特徴を活かしたキリスト教的な展示を行っていること」です。この点においては他大学の図書館では持っていない強みを出していくことを心がけています。もう一つは、「名古屋という土地に関連した企画を実施していること」です。名古屋に縁のある展示をすることで、学生の皆さんに少しでも興味を持ってもらえる工夫をしています。本学の図書館では企画展を通して、学生の皆さんへ「何らかの気づきを得てもらえきっかけ」を提供していきたいと考えています。

学生への学びのきっかけを創ることは図書館の役割

昨年から新入生へ向けた取り組みとして、少人数で図書館内を歩き回る(ライブラリーツアー)という企画を実施しています。この企画を通して「図書館にはこんなにも書籍がある!」ということ、さらには一年生の時に感じることを大切にしたいという考えがあります。この取り組みを通して、図書館は一人でも安心して気軽に利用できる場所であるということを感じ取ってもらえればと思っています。

また、初級講習会も実施しています。アクティブラーニングの一環として、学生達にグループワークを実施してもらい、コンピュータで調べ、実際に書籍を探していくという体験をしてもらうようにしています。学生達が実際に様々な書籍を手にして、感じることをこの取り組みの中では大切にしています。

これからは図書館が学びの発信地となり、大学全体の学びの環境を創る時代となる

図書館というのは本を置いておく場所ではなく、本を通して学びを得る場所であると考えています。

例えば、それはラーニングcommonsという形で実現されています。キャンパス全体が図書館のこの役割を果たすことが理想です。つまり、キャンパスのどこにおいても図書館のように学べる環境を提供できれば素晴らしいことです。

今年の4月から、本学のS棟の3階部分にラーニングcommonsを設置いたしました。これは図書館3階のラーニングcommonsを作った経験を活かして実現したことの一つです。そして、2017年には更に新棟が建設される予定で、瀬戸にあった総合政策学部が名古屋キャンパスに移ってOne Campusになります。その中でもラーニングcommonsを設置する予定です。

図書館というのは、学生が学ぶために本を借りる場所となり、学内全体を学びの環境として提供していくための、「ステーション」として機能し、学びのスタート地点としての役割を果たしていくようになると思います。図書館は学びを提供する出発点としての情報ステーションとしての役割を今後も果たしていきたいと思っています。

これからキャンパス全体として目指すべき姿は、「学びの心臓部」である図書館から、新しい学びの「カタチ」を提供していくことです。図書館で本を借りて、学生自身が居心地の良いキャンパス内の場所を探して、どこにおいても勉強が出来る環境を整える。これが本学の目指す「キャンパス全体がラーニングcommons」の姿です。

現地の人の温かみに触れたことが研究への出発点

実際に初めてインドネシアへ行った時には、大きなカルチャーショックを受けました。「こんなにも日本との文化の違いがあるのか?」、現地の人々やモノと触れ合う中で、文化の違いを実感しました。当時は大学2年生でしたが、現地の「人の温かさ」を直に感じました。このインドネシアの「人の良さ・笑顔・優しさ」といったことが研究を始めようと思った源の一つであると今も感じています。そう考えてみると、実際にインドネシアに行ったこと、現地の様子を肌で感じたことが研究を始めようと思った一番の理由かもしれません。

それから20年ぐらい研究者としてインドネシアの文化研究をしてきた成果を一つのカタチとして

現地へフィードバックしたいと考えて、2005年にインドネシア語で研究書を出版しました。今後も、研究者として自分が社会に出来ることを通して、少しずつ貢献していきたいと考えています。

インドネシアと故郷への感謝の心を忘れないでいたい

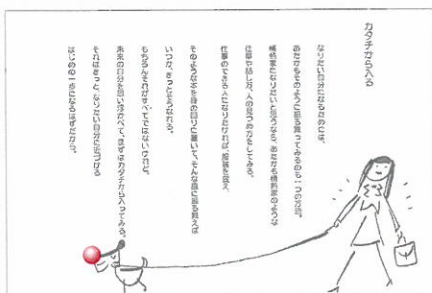
趣味はテニスでしょうか。週に一回しか出来ませんが、長くテニスはやっています。大学の時は体育会の卓球部に所属しており、今も南山大学の卓球部の部長をしています。裏千家茶道部の部長をしているのも、学生時代の経験からです。あとは、靴磨きや庭そうじも好きです。

インドネシアのために出来ることは何でもしたいと日頃から思っています。インドネシアの人から依頼されたことは、出来る限り何でも引き受けるようにしています。大学の授業や研究などがあり、どうしても予定が調整出来ない時以外は、出来るだけ仕事を引き受けるようにしています。中には、インドネシアへ向かって、ゲストスピーカーとして大学や公的な場所で講演を行うこともあります。インドネシアを研究する者として、自らが培った専門性が活かされるのであれば、それ以上の喜びはありません。

私は京都府の北部、丹波地方の綾部市という小さな町の出身です。生まれたこの町に対する愛着があり、定年後には綾部のために自分の力を活かして何か貢献をしていきたいと考えています。最近はずっと自分の原点である故郷への想いが強くなってきていると思います。インドネシア文学や文化の研究で経験したことがどれだけ故郷のために活かすことが出来るかはわかりませんが、故郷に対してなんらかの恩返しができるのであれば嬉しいです。

Information

● ご存知ですか? キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe...」わたしたちキャリアパワーの信じるどころ。その思いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の中に、私たちの思いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の中に、その思いを留めてほしい。ずっと変わらぬ思いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

ご希望の方に配布中です くわしくはスタッフ企画室まで!

TEL 0120-288-450 E-mail info@careerpower.co.jp

■ Career Study

ココが知りたい派遣法

「派遣先責任者とは？」派遣先責任者の選任方法

派遣先として派遣スタッフを受け入れる場合、派遣会社の営業担当から派遣先責任者を選任して下さいと依頼されることがあると思います。私も過去に派遣窓口の担当者の方に「派遣先責任者は人事部長にしておくが、何か問題があっても人事部長に迷惑かからないですよ」と質問されたことがあり、驚いた経験があります。本来は問題が発生した時に派遣会社と一緒に対応していただく責任者として選任していただきます。

厚生労働省・都道府県労働局発行の「労働者派遣事業を適正に実施するために」の中に派遣先責任者を選任する場合は、①労働関係法令の知識を持ち、②人事労務管理等についての専門的知識や相当期間の経験を有し、③派遣就業に関して一定の決定・変更の権限を有する等、職務を的確に遂行できる者を選任するよう努めてください、とあります。

また、派遣先責任者は、派遣スタッフの就業場所である派遣先の事業所単位で選任する必要があり、かつ、複数の事業所の派遣先責任者を兼任することは出来ません。(例:東京本社の人材部長が、東京本社と千葉製作所の二つの事業所の派遣先責任者になることは出来ません)

なお、派遣先責任者は、派遣スタッフに関する就業の管理を一元的に行うという目的で選任するため、基本的には派遣スタッフと同じ事業所の方を選任してください。(例:東京本社に在籍する人事部長が千葉製作所の派遣先責任者となるのは望ましくありません)

派遣先責任者の業務は以下となっております。

- ①労働者派遣法及び労働基準法等の適用に関する特例等により適用される法律の規定、派遣スタッフに係る労働者派遣契約の定め並びに派遣会社(派遣元事業主)から受けた通知の内容についての関係者への周知
- ②派遣受入期間の変更通知に関する事
- ③派遣先管理台帳の作成、記載、保存及び記載事項の通知に関する事
- ④派遣スタッフから申出を受けた苦情の処理
- ⑤安全衛生に関する事
- ⑥その他、派遣会社(派遣元事業主)との連絡調整



講師

事業本部
法令順守委員会
西澤 淳

行政監査対応が豊富で、実務経験を有している弊社コンサルタント。派遣法や労働法、労働問題や派遣監査に精通しているキャリアパワーの法務担当でもあり、モットーは「元気が一番」。

● 法令順守委員会

キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行いながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守ができていないかの再チェックを行っています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足していただけるよう活動を行ってまいります。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

株式会社キャリアパワー 法令遵守委員会

TEL 075-341-2929 E-mail support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは、フリーコール 0120-154-450 にお気軽にお問合わせください

東京：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15F
大阪：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 2F
名古屋：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル8F
京都：〒600-8216 京都府京都市下京区告小路通鳥丸西入東塩小路町843-2 日本生命京都ヤサカビル 4F
滋賀：〒525-0025 滋賀県草津市西波川1-1-3 リバティールハウス4F
システムセンター：〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL.03-6895-2929(代) FAX.03-6895-2911
TEL.06-6346-2929(代) FAX.06-6345-1268
TEL.052-563-2929(代) FAX.052-563-3511
TEL.075-341-2929(代) FAX.075-341-3828
TEL.077-501-9292(代) FAX.077-501-9200
TEL.075-344-6776(代) FAX.075-344-6780

発行

株式会社 キャリアパワー

企画/制作

株式会社 キャリアクリエイト

2015.8.15発行

■ Information

第17回 図書館総合展に今年も出展します

2015年11月10日から12日の三日間、パシフィコ横浜で開催される第17回 図書館総合展にキャリアパワーが出展します。この図書館総合展は図書館業界最大のイベントで、全国の大学・高校・公共・民間の図書館関係者が来場されます。弊社では、会場内に企業ブースを出展し、さらに弊社主催のフォーラムも開催します。ぜひ、会場に足をお運びください。

■第17回 図書館総合展 2015年11月10日～12日 会場:パシフィコ横浜
※キャリアパワー主催フォーラム開催概要はCAPO次号にてご案内いたします。



無料労働者派遣法／労働法講習会のご案内

■ Information

『無料』労働者派遣法／労働法講習会のご案内 —実務視点からの派遣活用のポイントや注意点—

- 派遣の制度をきちんと理解したい!
- 指揮命令者として見落としがちなポイントとは?
- トラブル事例から学ぶ、派遣活用のポイント!
- 派遣の制限や活用の注意点って?
- 派遣スタッフの能力を発揮させる環境とは?
- 派遣法改正の動きについて!?

今なら『無料』で講習会を実施しております

【ご要望にあわせて講習会内容を事前にお打合せさせていただきます】
●場所 ●時間 ●内容 ●参加者 ●目的など

【行政監査対応が豊富で実務経験を有している講師】
派遣法や労働法、また労働問題、派遣監査などに精通しております。

〈まずはお気軽にお問合せ下さい。〉

TEL 075-341-2929 mail nszw1567@careerpower.co.jp
(担当) 西澤まで

